

さんだまちを遊ぶ博覧会2023 プログラム主催者説明会

令和5年5月15日(月) 14時30分～
三田市まちのブランド観光課
(一社)三田市観光協会

本日の流れ

- さんだまち博について
- これまでの取り組み
- 第3回(今年度)について
- エントリーに関する注意事項
- アドバイザーの紹介
- 第2回(昨年度)参加者の事例紹介
- 今後のスケジュール
- 最後に



さんだ
まち博

さんだのまちを遊ぶ博覧会(さんだまち博)とは・・・

さんだまち博

三田のまちを博覧会場に見立て、多様な魅力を体験する参加型イベントです！
プログラム主催者が自ら企画・運営する体験型交流プログラムを通じて、三田ならではの地域の良さや面白さをお客様と一緒に再発見し、心地よいまち、暮らしよいまち、楽しめるまちを創ることを目的としています。
プログラム主催者自身が参加者と一緒に楽しみ、プログラム主催者同士のつながりを深め、持続可能な観光プログラムを作り上げていきます。

さんだまち博への思い

◆三田ファンの獲得

→三田ならではのコンテンツを磨き上げ、チーム三田で地域の魅力をつないで発信し、三田ファンを増やしたい！

◆プログラム主催者、参加者、三田のまちのWin-Win-Winの構造へ

→それぞれのプログラムが持続可能な観光プログラムとして成長し、「さんだのまちを遊ぶ」が日常になり、年中あちこちで体験型交流プログラムが実施されるまちにしたい！



これまでの取り組み



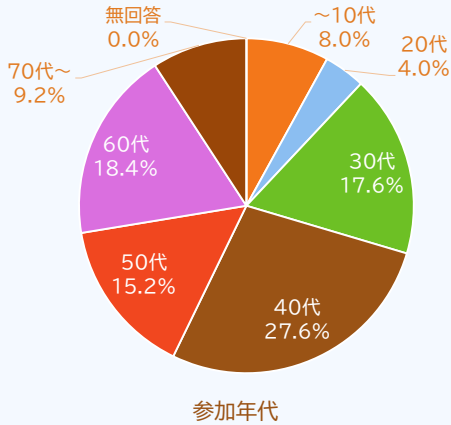
	第1回	第2回
日程	令和3年10月30日～ 11月28日	令和4年10月22日～ 11月20日
設置プログラム数	11プログラム	33プログラム
延べプログラム数	22回	58回
開催プログラム数	10プログラム	31プログラム
延べ開催プログラム数	21回	52回
参加者数	249人	529人





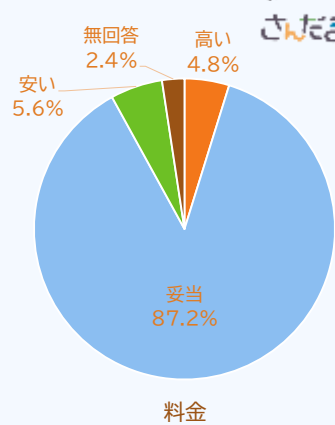
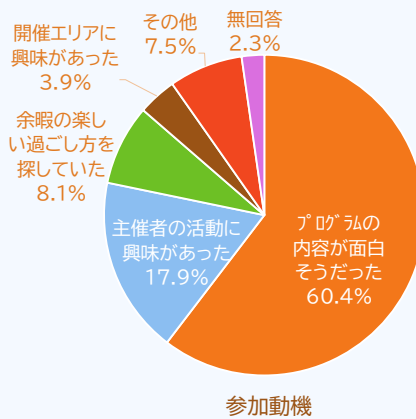
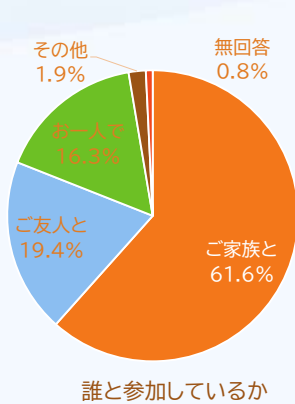
参加者の概要(参加者アンケートより)

• 回答者数:250人



兵庫県内			兵庫県外		
市町名	人数	構成比	市町名	人数	構成比
三田市	150	60.0%	大阪市	8	3.2%
神戸市	27	10.8%	東大阪市	4	1.6%
尼崎市	8	3.2%	吹田市	4	1.6%
西宮市	7	2.8%	門真市	4	1.6%
芦屋市	6	2.4%	池田市	3	1.2%
伊丹市	1	0.4%	豊中市	3	1.2%
川西市	2	0.8%	高槻市	1	0.4%
丹波篠山市	5	2.0%	三島郡	1	0.4%
丹波市	4	1.6%	京都市	1	0.4%
三木市	3	1.2%	長岡京市	2	0.8%
姫路市	1	0.4%	奈良市	1	0.4%
			生駒郡安堵町	1	0.4%
			東京都	1	0.4%
			不明	2	0.8%
小計	214	85.6%	小計	36	14.4%
			合計	250	100.0%

参加者の概要(参加者アンケートより)



参加者の感想(参加者アンケートより)

- ・想像以上にたくさんの体験をさせてもらい、家族全員大満足な1日でした。スタッフの方々もとても親切で子どもにも優しく、段取りもスムーズで素晴らしかったです。
- ・今住んでいる所ではなかなか体験できないことをたくさんさせてもらい、とても充実した1日でした。子どもたちの生き生きした姿が見れたのも親としても嬉しかったです。
- ・おもてなし、質、景色、全てが最高でした。
- ・実際に参加したり、作成したり、味わえたり、飽きない内容でした。
- ・知らない世界を分かりやすく教えていただきました。
- ・難しいと思ってましたが5才にも楽しめる内容でした。
- ・今までにない体験をさせてもらえて良い経験になりました。
- ・三田駅周辺を歩くことが少ないので新しい発見がありました。
- ・普段歩いている道がかつてどういう場所だったのか、学校でも学べないことが知れて楽しかったです。
- ・若い方々のエネルギーを感じて嬉しかった。これからの三田が楽しみです。

プログラム主催者の概要(アンケートより)



(1) プログラムに対する感想、運営上の課題、改善点等

評価52件(45.2%) 課題34件(29.6%) 改善・提案29件(25.2%) (計115件)

→(主な意見)

評価点: 自社認知度が向上した、地域との結びつきを得た、従来と異なる顧客層に届いた、単独ではできない告知ができた

課題点: WEBの運用、参加者の管理、集客方法、さんだまち博の認知度不足

改善・提案: 集客のターゲティングや企画内容、価格設定、Instagramや動画によるPR、研修内容

(2) 今後の参加について(27団体、32回答)

参加18(56.3%) ②参加検討9(28.1%) ③未定3(9.4%) ④不参加0 ⑤未回答2(6.3%)



第3回(今年度)について

第3回の概要

- 主催:三田市、一般社団法人三田市観光協会
- 開催期間:令和5年10月14日(土)~11月12日(日)の30日間
- 募集内容 プログラム数:40プログラム程度
エントリー料:3,000円
- プログラム内容:市内の豊富な地域資源やプログラム主催者のスキル・アイデアを生かした体験型交流プログラム
- 募集対象:個人、事業者及び各種団体(NPO法人、任意団体、グループなど)

第3回の概要(応募要件)



- (1)さんだまち博の趣旨を理解し賛同できる
- (2)責任をもって自らプログラムを企画・運営できる
- (3)プログラムの開催場所を三田市内に限る
- (4)プログラム参加者から参加料を徴収する
- (5)許認可申請を要するプログラムについては、関係法令を遵守する
- (6)十分な安全対策を講じる
- (7)プログラム終了後には三田市が指定する様式で実施報告をする
- (8)新型コロナウイルス感染症対策を実施する
- (9)公序良俗に反するプログラムではない

事務局とプログラム主催者の役割分担



【事務局】

- ・プログラムの収集・管理
- ・パンフレット等広報物、専用ホームページの作成等によるPR周知
- ・プログラム内容のブラッシュアップに向けた研修等の開催
- ・アドバイザー等の相談体制の提供

【プログラム主催者】

- ・企画の立案・当日の運営（参加者の保険加入必須）
- ・さんだまち博、各プログラムのPR周知
- ・参加者の管理、参加費の徴収
- ・プログラム終了後のアンケートの実施、必要書類を事務局に提供

プログラム主催者のメリット

メリット①

普段はアプローチしづらい
新たな顧客との接点ができる

メリット②

事業化に向けたテストマーケ
ティングができる

メリット③

イベントやプログラムの
企画・運営のノウハウを学ぶ
ことができる

メリット④

普段の取り組みやサービスを
市内外にPRできる

メリット⑤

市内事業者との新たなつな
がりや連携が生まれる

メリット⑥

イベントを一緒に作り上げ
る・盛り上げてくれるお客さ
んと出会いファンづくりがで
きる

エントリーに関する注意事項

①前回に続いて参加を検討されているプログラム主催者の皆さん

→コンテンツの磨き上げというさんだまち博の趣旨から、新しいチャレンジや昨年の改善点等を踏まえたブラッシュアップを行い、変更点を明確にお願いします。

②類似テーマ等の日程被り

→土日に集中しがちになるが、時間をずらすなど、参加者の取り合いにならないよう注意してください。プログラム主催者同士の横の連携を行い、各プログラムを参加者が周遊できるような調整をお願いします。

③法令等の抵触

→送迎等が伴う場合の旅行業法の確認など、法令等には十分ご注意ください。

④市関連イベント等との連携

→10月14日(土)三田バル(想定)、10月21日(土)味覚まつり、11月4日(土)農業まつり(想定)など秋の三田はイベントが盛りだくさんです。各イベントに関連させて実施する、日程をずらすなどご検討ください。

さんだまち博アドバイザーの紹介



株式会社インプリージョン

森 なおみ 氏

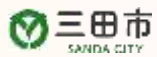
【さんだまち博全体のコーディネート】



一般社団法人イヒ 代表理事

寺井 俊裕 氏

【個別プログラムのブラッシュアップ支援】



第**2**回【昨年度】プログラム主催者の事例紹介①

「楽しい」を創造する ENJOY GREEN SANDA

三田にも「小野」ってあるねん！

ENJOY GREEN SANDA の
活動コンセプトです



小野は、**歴史**と**豊かな自然**に溢れている



千丈寺湖を望む小野公園は、四季折々に景色を変え訪れる人を魅了する



小野は、歴史と豊かな自然に溢れている



500年前から小野集落を見守っている聖徳寺



ENJOY GREEN SANDA 22年度「さんだまち博」プログラム内容



ピザはアートだ！

色で味わうピザづくり体験

心を整える

坐禅体験



地域を知り 人と出会い 想いを繋げる



これからの ENJOY GREEN SANDA

「小野」を拠点に、楽しい事ワクワクする事を発信していきます

23年度の「さんだまち博」も、**小野**が舞台です。

えっ！そんな事が体験できるの♪とワクワクするようなプログラムを検討中！

《課題》

- ・ 集客に繋がる告知の方法
- ・ 主催者間のコミュニケーション
- ・ 団体としての継続的な運営



人と人を繋ぎたくさんの「楽しい」と出会いたい

ENJOY GREEN SANDA



第2回【昨年度】プログラム主催者の事例紹介②



さんだまち博



広野にある、
“全活循環”をテーマに、フリーズドライを中心とした、
食に関する研究・開発・製造販売を手掛ける食品メーカー





まち博に参加したきっかけ、目的

企業の目線からの
三田市ブランディング
への参画

産官共創のきっかけづくり

地元企業としての
認知の拡大

透明性、愛される会社へ

地元の皆様との
共創企業に

声を直接聞くチャンスに



昨年度の取り組み内容①



昨年度の取り組み内容②

今日のスケジュール

- 1：入社式 10:00～11:00
・社算証(お礼)づくり・自己紹介・会社の説明・薪ためしラケット
- 2：商品企画のおしごと 11:00～12:00
～商品を基の合わせもオリジナルセットを作ろう！～
- 3：商品開発のおしごと 12:00～13:30
～オリジナルのおみそ汁を作ろう～
- 4：記念撮影 13:30～14:00

館内に簡単なアンケートがございます。



昨年度の取り組み内容③

【企画を作るうえでの考慮したポイント】

①

リアルであること

普段の仕事内容を
コンテンツ化して提供。
実際に働くイメージや、
出来るだけ職場を周回する
導線設計。

②

想像を超えること

お客様が期待されていた
価値を超えること。
ウェルカムムービーの作成や
スタッフのホスピタリティ。

③

思い出を提供すること

まち博自体を継続した
コンテンツとするため
思い出の連鎖による
意識をつなぎ止めを行う設計。





①
リアルであること

普段の仕事内容を
コンテンツ化して提供。
実際に働くイメージや、
出来るだけ現場を再現する
体験設計。



①
リアルであること

普段の仕事内容を
コンテンツ化して提供。
実際に働くイメージや、
出来るだけ現場を再現する
体験設計。





③
思い出を提供すること

まち博自体を題材とした
コンテンツとするため
思い出しの連鎖による
意識をつなぎ止めを行う設計。



③
思い出を提供すること

まち博自体を題材とした
コンテンツとするため
思い出しの連鎖による
意識をつなぎ止めを行う設計。

昨年度の取り組み内容④

【企画を作るうえでの考慮したポイント】



- ↓
- ・三田での就職イメージの定着(会社、行政双方へのメリット)
 - ・三田ファンの増加につなげる(ふるさと意識の向上)
 - ・まち博自体を継続性のある企画へ

↓

三田市
観光ビジョンの実現

企業
CSRの実現



反響

アンケートにて嬉しい声をたくさんいただきました。

参加者の中から「こんな会社で働いてみたい」という声をいただきました。

他のイベントにて「次回は参加したい」という声をいただきました。

社内にて、地元連携のイメージが固まり団結感が強まった。



次回に向けて

- ・より多くの参加者を取り込むことができるよう体制の強化
 - ・細かい反省点を活かしたクオリティの向上
- ・会社をより深く知っていただけるようなコンテンツ設計

今年度やってみたいこと

“チーム三田”ということで、
今年度はたくさんのチームメイト（事業者の皆様）と
コミュニケーションをとりながら
全体で三田を盛り上げていけるような
アクションをしていきます。



今後のスケジュール

※日程・内容は変更する場合があります。

日程	内容	備考
5月15日【本日】	プログラム主催者説明会	
5月31日(水)	エントリーシート提出期限	回答先は下記LoGoフォームより https://logoform.jp/form/hyogo-sanda/260090
6月7日(水) 14:00~	研修会①「プログラムシートの書き方等」	講師:一般社団法人イヒ 代表理事 寺井 俊裕 氏
6月30日(金)	プログラムシート提出期限	提出先は三田市まちのブランド観光課
7月上旬~中旬	プログラムシートのブラッシュアップ期間	寺井さん、市からヒアリングや修正をお願いすることがございます。ご対応をお願いします。
7月下旬	プログラムシート確定	
8月下旬	パンフレット配布、専用WEBサイトで広報開始	各プログラム主催者の皆さんも広報にご協力ください。
8月下旬	研修会②「内容検討中」	
9月中旬	研修会③「ファンをつくる観光について」	講師:株式会社インプリージョン 森 なおみ 氏
9月中旬~	まち博参加者受付開始	参加募集の広報、参加者の管理などお願いします。
10月14日~11月12日	さんだまち博期間	プロジェクト実施
1月下旬	実施報告会及びプログラム主催者交流会	

問い合わせ先



●事業全般について

〈三田市まちのブランド観光課〉

担当：近藤、田村、丸本

住所：〒669-1595 三田市三輪2丁目1番1号

電話：079-559-5012 FAX：079-559-5024

Eメール：machibrand@city.sanda.lg.jp

〈一般社団法人三田市観光協会事務局〉

住所：〒669-1531三田市天神1丁目10-14

兵庫県阪神北県民局三田庁舎別館

電話：079-561-2241 FAX：079-550-9011

Eメール：sanda-kankou0039@office.eonet.ne.jp

●プログラムづくり等について

〈一般社団法人イヒ

代表理事 寺井 俊裕〉

電話：090-7498-8876

Eメール：

fudanno.life@gmail.com

LINE QRコード



最後に…

- 一緒に楽しみながら三田の魅力を伝えましょう！
- プログラム主催者同士の横のネットワークからお互いに情報交換しながら、助け合い、切磋琢磨してプログラムを磨き上げていきましょう！チームまち博で取り組みますので、お気軽に相談を！
- まだまだプログラム主催者を募集していますので、仲間探しにご協力ください！
- 本日からまち博のエントリーを開始しています。
ぜひ下記のQRコードから申込みお待ちしております！！

